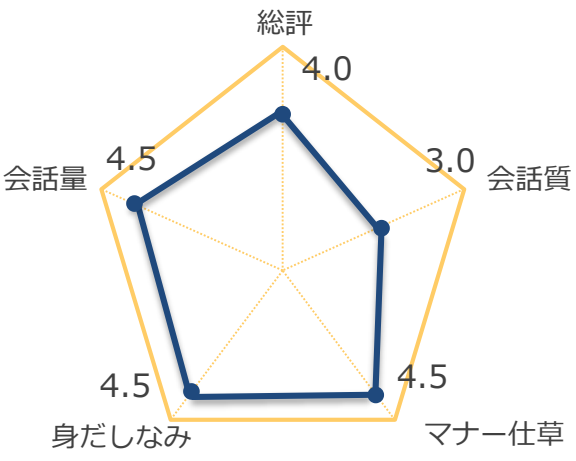


氏名	山田 太郎 (やまだ たろう)	パートナー	松下 史
実施日	20xx年xx月xx日13:00~	場所	新宿ワシントンホテル



総評

- 外見的なマイナス面は無く、またご自身の性格も温和で、相手に対する配慮の意識をちゃんと持たれていて、第一印象で損をすることは無いと思われます。
- 会話のボリュームや進行も支障はないですが、中身について、山田さんの内面を自信を持って伝え、相手と向き合うことを意識されても良いと思われます。
- “違い”に対してどういった歩み寄り方をしていくかは安定感や余裕を見せられる部分なので、怖がらずに向き合うと良いと思います。(単に、合わせるとか合わせてもらうとかでない、2人で楽しむような道筋が取れると良いのではないのでしょうか)
- 結婚生活のイメージを具体的に描くことや、それを上手に伝えることを磨くこと、更に良いと思われます。
- 頼りがいがある男性像を無理に演じるよりも、“素直な自分を出せること”“疑問を疑問と言えること”からも信頼感は生まれます。

フィードバックの観点	今回のおみれんでの所感
------------	-------------

外形的側面	身だしなみ	<ul style="list-style-type: none"> やり過ぎ・やり足りないといった観点や、頭髮、服装、爪、靴などで気になる点はなかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 清潔感があり、お相手に不快な気持ちを生じさせることはありません。 無難なところですが、無理する必要はありません。初めてのお見合いでスーツ、交際で普段通りの私服や少しだけジャケットでフォーマルにするなどが適切です。 相手の目を見てしっかり話せていました。声のトーンも心地良く、笑顔が多く出ていました。相手の話を聞く姿勢も好印象でした。 言葉づかいは丁寧ですし、マナーや外見面で引けを取ることは無いと思われますので、気にせずリラックスして臨まれると良いと思います。
	マナー・話し方	<ul style="list-style-type: none"> 移動中のエスコートの受け方（並んで歩く、後を追うなど）や、飲食の仕方・仕草や、声の大きさ・滑舌・話すスピードなど、本人もなかなか気づいていない癖などもあるので、客観的に確認しています。 	
中身的側面	会話量・進行	<ul style="list-style-type: none"> 自分の事ばかり話し過ぎていなかったか、会話が途切れているのに何も話題を切り出してくれないなど相手任せにしていないかなど。 個性の問題ではなく、お見合いという限られた時間内で適切にお互いの理解を深める努力をしていたかという観点で、“会話量が適切だったか”（相手にも話させ、自分も話す）。 	<ul style="list-style-type: none"> 適度に質問を投げかけるなど、相手の会話を引き出していて、話す割合は適切でした。 山田さんは聞き上手なタイプです。真摯に耳を傾けられ好奇心を持って質問されている様子が分かりました やり取りで気になる話題などがあれば、もっとその場で突っ込んだ質問などしても良かったかもしれません。その方が、より深い会話のやり取りができた雰囲気になったと思います。
	場づくり・会話の雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> 考えやコメントが、（本人の真意かどうかは別として）楽観的過ぎたり、いいかげんな印象を与えていなかったか。否定的過ぎたり、卑屈な印象を作っていないかったか。 また、まじめ過ぎて堅苦しくないか、適度な談笑があったかなど“お見合い空間の中身”について確認。 	
	パートナー候補としての印象	<ul style="list-style-type: none"> お見合い相手が“自分（お見合い相手）のことを分かってもらった”感 相手にあなたのことを伝えられた感 	